

税金の有効利用について

昨今報道の通り、わが国の借金(国債発行額)は900兆円を上回り、行政の効率化がますます必要とされています。戸田市においても同様です。500億円近い借金(市債残高)がある上、今後20年間、全国の自治体の中で10番目という急速な高齢化が進むと予想されます(戸田市政策研究所2010年報告書)。今のうちに行政効率を高め、ムダを一掃し、将来に備えなくてはなりません。

サカイは「税金の有効利用」を重点政策として活動してきましたが、今回もその報告をいたします。

①放置自転車対策

戸田市の放置自転車対策には、撤去1台あたり2万円強のコストがかかっています。一方、例えば京都市では1台あたり1千円弱となっています。サカイは議会において、この事実を指摘するとともに、3つの点で改善を求めました。



まず、撤去委託料について。戸田市は年間約4000万円。7~8人体制。一方、京都市は年間約7300万円。36人体制。体制に比しての委託料金は、京都市の3倍弱。削減余地があると思われます。また、他市では撤去自転車の返還料(罰金)や撤去自転車の売却が大きな収入となっている

迷った時は、まず相談！

電話で専門家の相談が受けられます

戸田市福祉保健センター・相談支援担当

048-446-6453

埼玉いのちの電話(24時間・365日)

048-645-4343

埼玉いのちの電話(こどもライン:18才以下)

048-640-6400

事例も多く、戸田市においても改善を求めました。担当部長からは「検討する」旨の答弁がありましたので、今後の検討状況を確認していきたいと思えます。

②防災対策

非常時の備えが急務となっています。特に、水道については、地震や水不足などの天災だけではなく、本年5月に問題となったホルムアルデヒド混入のような薬物による水源汚染なども想定され、水の確保が重要となっています。水の備えとして、議会において2点、提案しました。

・「貯水槽水の利用」: マンションや公共施設などの貯水槽には、1か所あたり数十トンの水が常時貯留されています。この水は、断水時には取り出せず、利用はできません。

そこで、貯水槽にあらかじめ給水栓を設置し、断水時に利用可能にする方法があります。設置費用は1か所あたり数万円~と非常に安価、しかも大量の水を確保できます。

・「各家庭における備蓄」: 正しい方法で実施すればほとんど手間もコストもかからない優れた方法です。具体的なやり方を広報するよう求めました。

担当部長からは、どちらの提案についても前向きな方向で検討する旨、答弁がありました。

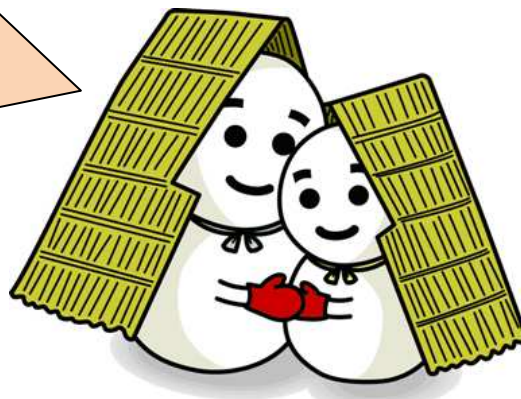
非常時の備えは大切ですが、同じ効果ならばコストのかからない方法を採用すべきと考えます。

自殺予防週間【9月10日~16日】

いじめによる自殺の問題が、連日報道されています。

国全体としては、ここ数年の国を挙げての自殺対策の成果により自殺者数は減少、今年は15年ぶりに年間3万人を切るペースとなっています。戸田市においては年間30人を超える多くの方が自殺により亡くなっています。

サカイは相談窓口の広報や未遂者支援の強化、関係機関との連携など、早急な対策を求めてきました。



南魚沼市の自殺対策キャラクター「きづなちゃん、こころちゃん」

酒井いくろう【Eメール】ikuro.sakai@gmail.com
〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1(議会事務局内)

TEL/FAX:048-432-9168

質の高い議員活動のためには、皆様からのご意見が必要です。
どのようなことでもぜひご一報下さい。



チラシ内容の詳細はこちらです

↓↓↓

酒井郁郎ウェブページ

<http://sakai.sub.jp/>